

令和5年度 社会福祉法人役員等研修会

地域における公益的な取組の 更なる展開に向けて

京都福祉サービス協会

地域共生社会推進センターからの実践報告



社会福祉法人 京都福祉サービス協会

地域共生社会推進センター

代表 河本 歩美

事務局長 池田 英郎

1

京都福祉サービス協会について

暮らしに笑顔と安心を



1986年

在宅の高齢者や障害のある方にホームヘルプサービスを提供する団体として「京都ホームヘルプサービス協議会」として発足

1993年

京都市の出資（出えん）を得て、社会福祉法人 京都福祉サービス協会として認可

2019年

出資（出えん）関係を解消し、外郭団体から自律



京都福祉サービス協会について

訪問介護等事業所 11

訪問看護ステーション 1

高齢者福祉施設 12

児童館 4

職員数：2,277名

(2023年4月1日時点)



第2期中期経営計画の中で

基本目標1 「地域共生社会へ」

基本目標2 「より良いサービスを」

基本目標3 「新しい組織と人で」

welfare (ウェルフェア) から well-being (ウェルビーイング) へ

→受動的福祉観から能動的福祉観へ

2017年の改定社会福祉法:社会福祉法人には公益的な取組を実施する責務が定められた
これは、“well-being(ウェルビーイング)”の福祉観に基づいた役割を求められている
と捉え、「地域共生社会の実現」を新たな使命とする。

人によりそい、地域にかかわり、共にあゆむ

私たちは、かけがえのない一人ひとりの「生きる」を大切にするため
○サービスや制度の垣根を越えて、支援を必要とする
人によりそいます。

○人と人がつながる暮らしの場であり、支え合う力の源となる
地域にかかわります。

○人ととのつながりで生まれる地域社会の豊かさに喜びを感じ、
その創造に向けて共にあゆみます。

2

地域共生社会推進センターについて



運営委員

事務局

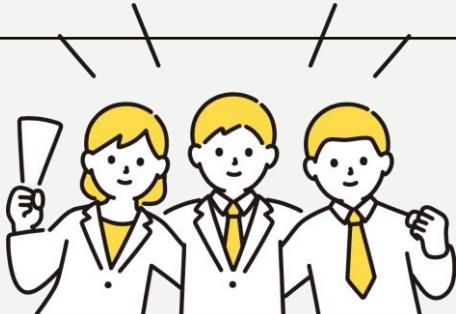
代表

副代表

事務局長

事務局次長

組織体制



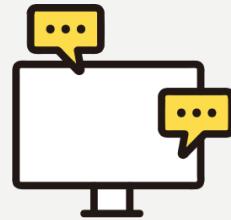
プロジェクト委員会

地域共生社会推進センターの活動

- (1) 地域共生社会づくりに関する情報を
収集、管理、共有、活用する活動
- (2) 協会の各事業拠点が進める取組を集約し、
また後押しする活動
- (3) 協会全体で「地域共生社会の推進」を
発信する活動



(1) 地域共生社会づくりに関する情報を収集、管理、共有、活用する活動



地域共生社会情報マガジン No.4

社会福祉法人 京都福祉サービス協会／地域共生社会推進センター事務局

2022.09

6月のよこ糸カフェのご報告

各ロゴマークをクリックすると、サイトにリンク

京都ランドリーカフェで sitte 体験（ヨコシマ珈琲付き）

6月に開催した「よこ糸カフェ」のご報告です。

今度から隔月開催となったカフェ企画。6月は西院サービスセンターの近くにある「KYOTO LANDRY CAFÉ」さんをお借りして開催しました。なんでも、京都で最初のランドリーカフェということです。コインランドリーに併設されたちよっとおしゃれな空間で、おいしい珈琲をいただけます。

珈琲は、1年ぶりに登場いただく「ヨコシマ珈琲」さん。塙南の森児童館による『いささぎた趣味？』の活動はさらによく。今回は手作りのカヌレもいたどり、みなさん大満足の様子でした。

さらに、「sitte」の体験会を開催。西院サービスセンターの田端主任に sitte の取り組みについて説明いただいた後、各テーブルで「刺し子」又は「ツボ押し棒磨き」を実際に体験しました。

無心でツボ押し棒を磨いたり、おしゃべりしながら刺し子を楽しんだり…自由な交流の時間となりました。

会の仲間が気軽に集って話せる環境を！という想いで始まったカフェ企画も1年がたちました。改めて、集まるごとの面白いや、人が集う場所を持つチカラを強く感じています。

ランドリーカフェの取組は、日替わりオーナーのシニアキッチンなど多種多様なイベントをされており、面白そうです。

ヨコシマ珈琲、sitte の活動にはそれぞれのストーリーと遊び心と魅力があります。そして、その魅力を持ち寄ることで、また面白くなっていく…。感染症への対応がずっと続き、難も多い中ですが、そんなつながりを絶やさないように、集う場や時間を作っていきたいと感じています。（池田/森林児童館）

地域共生社会情報マガジン No.5

社会福祉法人 京都福祉サービス協会／地域共生社会推進センター事務局

2023.01

よこ糸カフェのご報告（10月）

KARITENPO

おいしく、たのしく、つながりと SDGs を考える 土と野菜

10月のよこ糸カフェは、四条大宮にあるホテルスマートイント京都四条大宮1F「土と野菜 KARITENPO」を会場としてお借りし、株式会社「土と野菜」さんの取組についてお話を伺いました。当日は、協会職員を中心に、来年度協会へ採用内定している学生の方も含めて、24名の参加がありました。

19時スタート前、テーブルにはバターナップカボチャで作られた特製ケーキと急須で淹れた日本茶が配られ、ほっこりとした雰囲気の中、ゆるーく始まりました。

二部構成でお話を聞かせていただけ、まず最初は株式会社フードリボン（FOOD REBORN）の代表である大城奈津美はより、フードリボンの経営理念である「捨てる物がない明日」の数々の取組についてご紹介いただきました。

本社を沖縄県大宜見村に置かれ、循環型の社会を目指しながら将来の子どもたちのために、同時に生業を興すことを目的に同会社を設立された絆綱や、京都に株式会社「土と野菜 KARITENPO」を設置、この場所をベースに、様々な学生や企業の方とアライアンス（提携）しながらも、「土と野菜はあくまでも珍重、関係する学生や企業の皆さんに傳押しに徹しています」と仰っていました。

特に「知らないことは、自覚なく環境悪化に加担している」と知らされたのが、「化学樹脂の衣類を洗濯する度に、マイクロプラスチックを海に流している」とことや、「いわゆる発達途上国に限られ、と思って連れていた中古の衣類がサイズや季節など不適などを理由に行き場を失くして大量に廃棄されている」とことがありました。

お二人ともお人柄から、終始笑顔を絶やさず優しくお話しされました。その内容は私たちは勿論、私たちの子どもや孫にどのような環境を渡していくのかを考えさせられる、非常に示唆に富んだものでした。

また今回、「土と野菜」様の取組を伺う中で、地域共生社会の実現には、さまざまな人々や団体、会社やクリープなどの協働が必要であること、そのためには常に『ひらかれた』サービス協会であり続けることの重要性に再び気づかされる機会となりました。

これからも、よこ糸カフェでは地域のこと、環境のことについて一緒に考える機会を設けていきたいと思います。

（古賀/小川事務所）

(2) 協会の各事業拠点が進める取組を集約し、 また後押しする活動

ラジオ体操



高校生のための
介護初級講座



認知症カフェの開催
(高野事務所)



高齢者と地域を考える
部会アドバイザーの取組



地域交流スペースの設置



京都市高齢者すまい
・生活支援事業



「造言と成年後見制度」
出張出前講座



体育振興会への役員参加



認知症カフェの開催
(西院)



堀南の園夏祭りの開催



松原通の駅（みちのえき）



福祉避難所開設運営訓練



認知症の方にやさしい
まちづくり



一人暮らしの高齢者に
暖かな夕食を



地蔵盆を
地域の皆さんと一緒に



本能食室



公益的な
取組
の集約



ラジオ体操

南総合ステーション

南総合ステーションでは毎週火曜日と金曜日の朝、地域住民の方と従業員が一緒にラジオ体操に取り組んでいます。

場所は屋外駐車場です。夏は打ち水をする工夫をし、心地よい汗を流しています。

体操後は、お茶でほっこりしたり、会話を楽しんだりしています。

時々、茶話会を開き、頭の体操や介護相談、訪問看護師による健康相談・血圧測定なども行います。参加者の方からは「楽しみにしている」「体調が良くなった」との声をいただいている。

地域の方のご協力・ご理解をいただき開催しております。

1日の始まりを地域の風を感じることができるラジオ体操です。どなたでもご参加可能です。

どうぞお気軽にお越しください。従業員一同、お待ちしています。



高校生のための介護初級講座

京都福祉サービス協会

京都福祉サービス協会では「高校生のための介護初級講座」を随時、無料で開催しています。

これまで、高校や、高校生がボランティア活動をしている施設へ出向き、出張講座を行っています。

カリキュラムは「福祉・介護の仕事とは」「認知症を知ろう」をテーマとした講義と、「車いす実習」「高齢者擬似体験」の体験実習で構成されています。

主催者のご希望に応じ、個別の内容を選択することや認知症サポートー講座と同時開催することにも対応しています。

参加された高校生からは「認知症と診断された人の気持ちがわかるようになった」「福祉・介護の仕事に興味を持った」などの声をいたいでています。

公益的な
取組
の集約

よこ糸カフェ 年6回 開催



法人内に
よこ糸を
通す

ファシリテーション研修



取組を
進めるための
人材育成

プロジェクト
委員会の
立ち上げ

「住まう」「はたらく」「まざる」を一体化した
「団地を活用した空き家」活用を検討



団地の活用だけでなく、
広く「まちづくり」を意識したプロジェクトとする

「共生のまちづくりプロジェクト」

まちふろ

法人がチャレンジ精神で
取り組む
多様な職員がやりたいこと
を実現できるようにしたい



(3) 協会全体で「地域共生社会の推進」を発信する活動



主催
(一社)京都福祉サービス協会 地域共生社会推進センター

ある方ならどなたでも
(愛称)よこ糸フォーラム

参加費
無料

定員
150名

事前
申込

<https://forms.gle/cRakuW3yHgyIqC9>
※ QRコードからアクセスできない場合は、電話での申し込みも可能です。
電話申込：075-406-6330
〆切：11月30日(水)

**地域共生社会
推進フォーラム**

～つながりが生まれる場所～

2022. 12. 3(土)
14:00-16:30

ゲストトーク 会場

ユニティハウス ひとのま
宮田 隼さん

富山県高岡市にある「誰でも来られる」
一軒家『コミュニティハウスひとのま』
そこには不登校、ひきこもり、生活困窮者、
刑務所からの出所者、DV被害者など、
様々な事情を抱えた人たちが集まります。
世話を人の宮田さんの「支援をしてあげる」
のではなく「そばにいて一緒に考える」
姿勢や取り組み方、人とのつながり
方についてお話をいただきます。

タイム
スケジュール

13:30	開場
14:00	開会
14:15	事例紹介
14:45	ゲストトーク 宮田さん 休憩
15:15	トークセッション
16:30	閉会

京都府立京都学・
歴彩館 (大ホール)

トーキングセッション

- コーディネーター
南 多恵子さん (京都光華女子大学 准教授)
- 事例提供/パネリスト
・中島 廉行 (京都市小川特別養護老人ホーム 施設長)
「ふくしの側 (皮)に触れる」
・佐々木 千里 (南事務所 (訪問介護・居宅介護支援) 所長)
「ラジオ体操やってます」
・木戸 玲子 (京都府修徳児童館 館長)
「児童館はまちのほけん室」
- グラフィックレコード
三宅 正太さん (山科醍醐こどものひろば)

〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町1-29
申込・お問い合わせ: 075-406-6330 (京都福祉サービス協会 本部事務所)





[kyoto.fukushi](#)

投稿35件 フォロワー161人 フォロー中83人

地域共生社会推進センター【公式】

コミュニティ

(福) 京都福祉サービス協会【地域共生社会推進センター】

京都福祉サービス協会は、地域共生社会を作るために、地道によこ糸を通す活動をしてます。
さあ皆様つながって繋りましょう～ゆる～く～



ラジオ体操



焼き芋タウン..



新文

■ 投稿

◎ リード

貯 保存清潔

④ タグ付けされている人



SNS等を 活用した 発信



動画作成 研修



ぷちバズり

訪問介護ミライプロジェクトでの企画・制作
パンダの介護動画

18. 4万回再生！！



3

公益的な取組とは？

すべての社会福祉法人は、その高い公益性にかんがみ、「社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に對して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない」という責務が課されており、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が行われています。

(社会福祉法第24条第2項)

厚生労働省HPより

公益的な取組の例



施設

高齢者福祉施設 西院

- ・デイサービスセンター（定員：35名／日）
- ・居宅介護支援事業所
- ・地域包括支援センター
- ・小規模多機能型居宅介護（定員：登録25名）
(地域密着型サービスセンター welcomeやまの家)

社会とつながり、活躍の機会を。

sitteプロジェクト

前向きに頑張ろうとしている高齢者がいること
介護サービスを利用するからといって、何もできなくなったわけではないこと
誰かの役に立ちたいと考えていること
笑顔で人生を楽しんでいること
認知症であっても、できる環境を整えれば、やれることが沢山あること

高齢者福祉施設の利用者による
ものづくりブランド “sitte” を立ち上げ
木製品の製作を通じて、
高齢者の「自立支援」と「社会参加」
に取り組んでいます。



高齡者福祉施設 西院
ORIGINAL BRAND



“いきるをつくる”
mumokuteki

京都市内 の繁華街にある
ショップ&カフェ

コンセプト・素材選び・デザインを共同販売 など





販売



お買い物



NHKハートフォーラム

“認知症とともに生きるまち”とは ～私たちが地域でできること～

第3回 認知症とともに生きるまち大賞 表彰式

このたび、第3回認知症とともに生きるまち大賞の表彰団体7団体が決まりました。認知症当事者が語る災害体験が地域防災につながった事例、認知症当事者が地域の会社と組んでブランド商品を開発した事例など、今後の地域づくりのヒントが満載のフォーラムです。

表彰団体の活動について、丁寧に紹介する表彰式とともに、選考委員が「認知症とともに生きるまち」とはどんなものかを、語り合う記念シンポジウムを行います。



昨年の表彰式。受賞団体が舞台上に勢揃い

日時

2019年
12/7
(土)

開演:13時 終了予定:16時
(開場:12時30分)

会場

東京国際フォーラム
ホールD7 (定員250人)

【JR線】
有楽町駅より徒歩1分
東京駅より徒歩5分

【地下鉄】
有楽町線:有楽町駅
(B1F地下コンコースにて連絡)
千代田線:二重橋前駅より徒歩5分
丸ノ内線:銀座駅より徒歩5分
銀座線:銀座駅より徒歩7分
/京橋駅より徒歩7分
三田線:日比谷駅より徒歩5分

入場無料。事前申し込みが必要です
(詳細は裏面へ)

第3回認知症とともに生きるまち大賞 表彰団体

本賞

高齢者・こども110番:地域食堂「きたほっと」

(北海道北見市)

ボランティア団体marugo-to まるごーと

(新潟市)

さがみはら認知症サポートネットワーク

(神奈川県相模原市)

独自ブランド“sitte”プロジェクト

(京都市)

ゆめ伴プロジェクトin門真

(大阪府門真市)

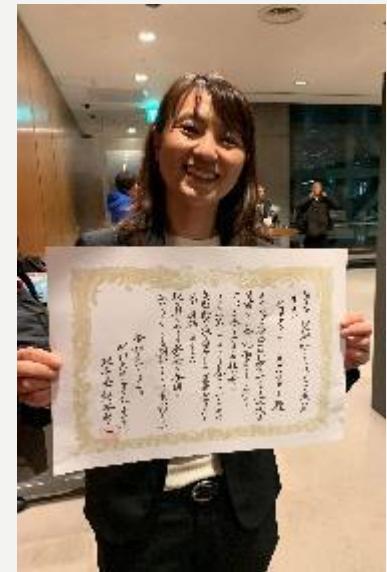
ニューウェーブ賞

岩手西北医師会認知症支援ネットワーク

(岩手県滝沢市)

日本工業大学建築学部建築学科生活環境デザインコース
／横浜市総合リハビリテーションセンター

(埼玉県宮代町)



第3回 認知症とともに生きるまち大賞

2019年12月7日
東京国際フォーラム



見えないところを、さぼらない。
MIZUTANI

『洗車』

2019年12月から
中古車販売店の洗車を開始。



『高校生と商品開発』

行政、企業、林業家、アーティストなど
異業種との取り組み。

Zoomでの会議の様子





「高齢者福祉とは何か?」 京都のデイサービスと
芸大生が取り組む人生100年時代に必要なこと



多世代交流食堂 (いわゆるこども食堂)

2016年12月から開始

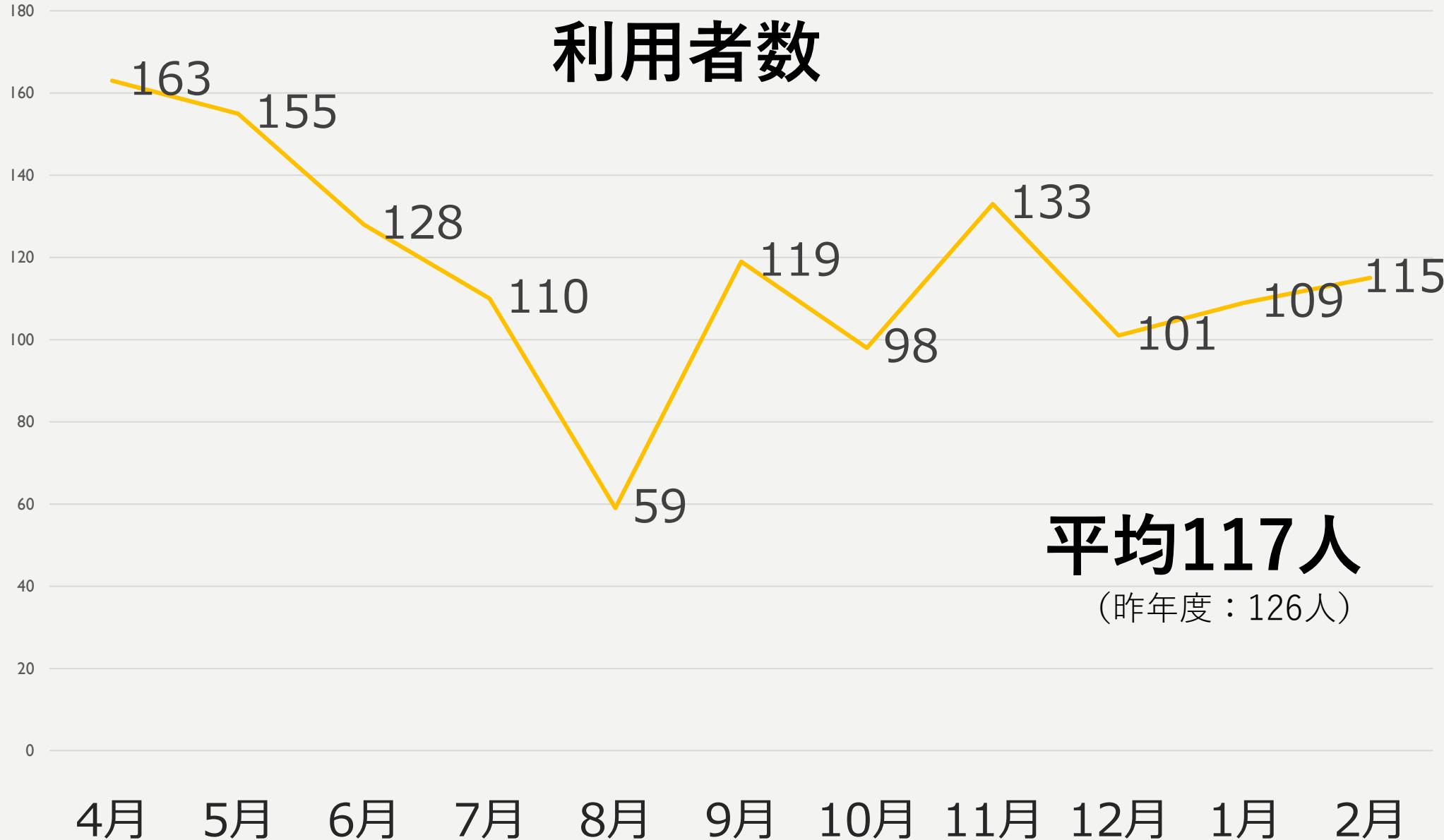




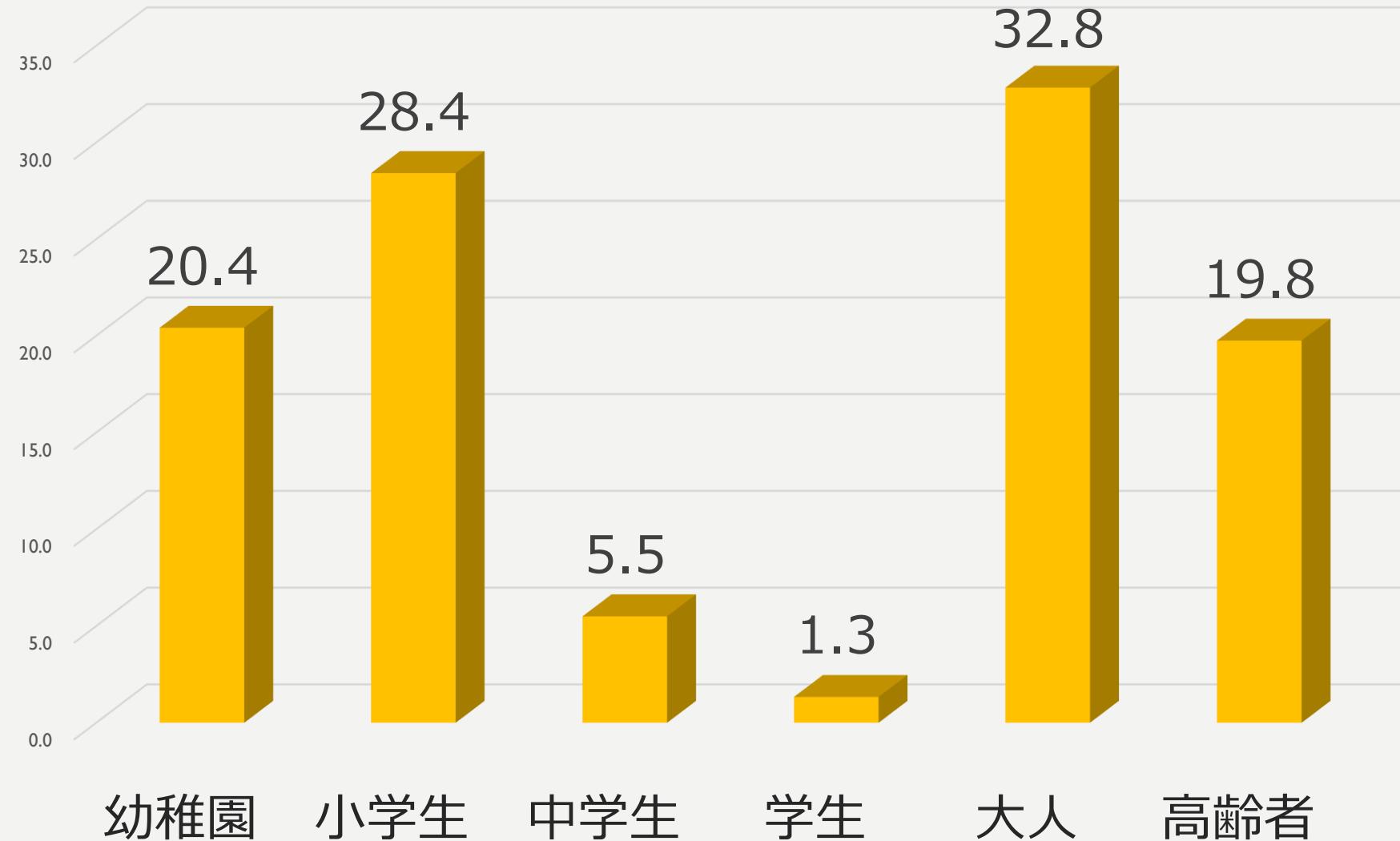




令和元年度 利用者数



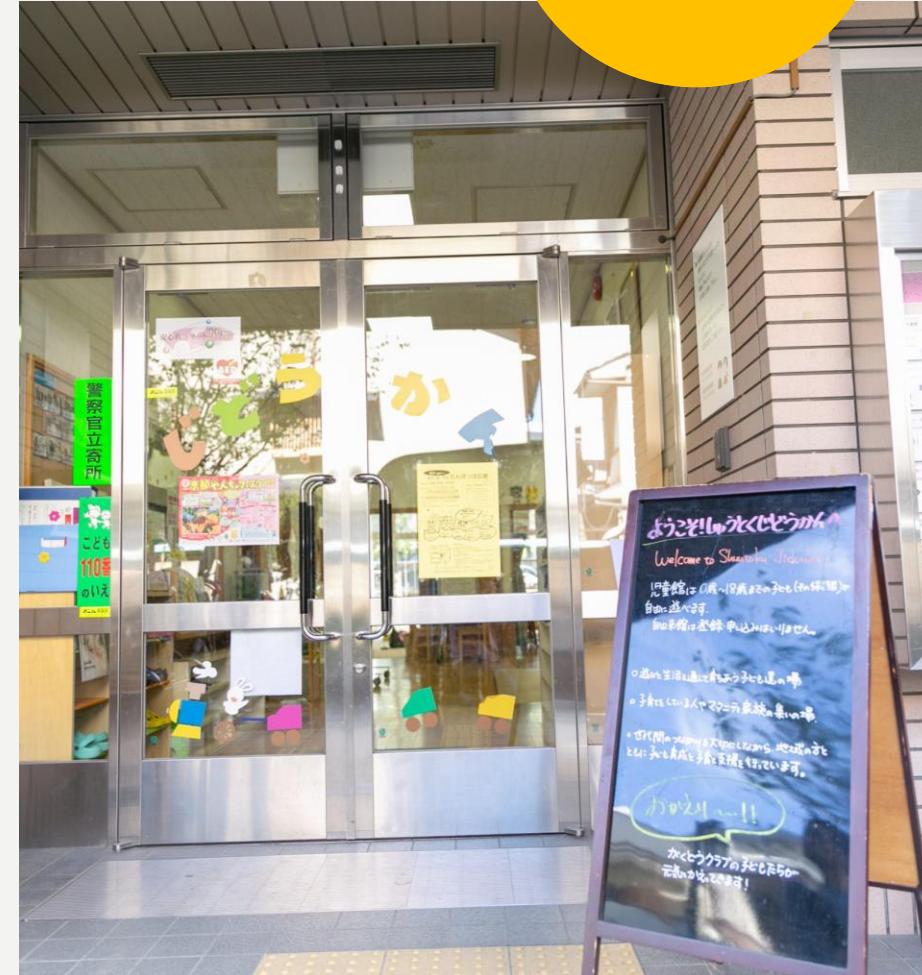
令和元年度 利用者の内訳



公益的な取組の例

サービス協会運営の児童館

- ・塔南の園児童館
- ・京都市修徳児童館
- ・京都市明徳児童館
- ・京都市錦林児童館



児童館の目標

- ・子どもの自立支援
- ・子育て家庭支援
- ・共生のまちづくり



乳幼児親子 の活動

妊婦さんも 地域に 出向いても



小学生の 活動

地域の方 高齢者と 共に

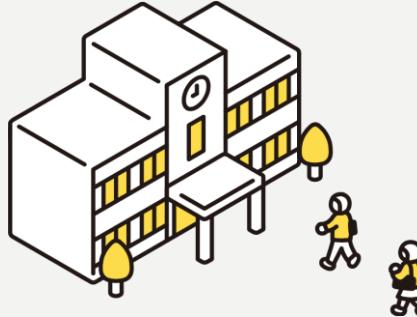


中高生世代 の活動

地域で活躍 居場所 + 誰かの 役に立つ



児童館の役割



学校



家庭



第3の場所

子どもを預かる仕事
支援サービスの提供

- ▶ 保護者と共に子どもを育てる仕事
- ▶ 子育て支援のコミュニティづくり

児童館の役割

- ・子どもの主体性を大切にできる
→遊びを支える仕事
- ・いつでも、どこでも、～しながら
→敷居の低い相談援助



- ・0歳～18歳までという幅の広さ
→継続した支援、他機関、地域連携
- ・徹底的な寄り添い
→支援が必要な親子を地域で支える



4

公益的な取組の展開

キーワードとして

利用者の主体性を ひきだす

多様な主体と つながる

ファシリ
テーション

コミュニティ
ワーク

コーディ
ネーション

共生のまちづくりプロジェクト

- ・市営住宅の高齢化という課題

高齢化率 68.8%

社会福祉法人の持つ専門性

住民自身の力

関係機関のネットワーク

を組み合わせ、団地だけでの「まちづくり」を意識して構想

はたらく

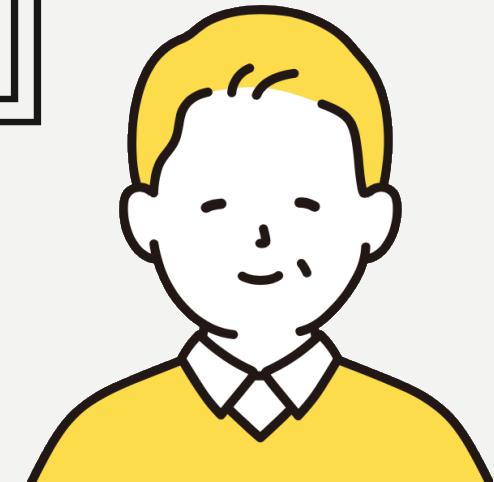
まさる

住もう



私たちを突き動かした言葉

『高齢者に温かいもの
食べさせたいんや！』



自治会長

タウンミーティング



焼き芋タウンミーティング
～焼き芋から始まる出会い～

団地、地域がこうなつたらいいなを
焼き芋を食べながら一緒に考えましょう。
もちろん、焼き芋を
食べに来るだけでも大歓迎です。

開催日時:2022年11月26日(土)

10:00~12:00

開催場所:山科区勧修寺堂田

西野山団地集会所(投票所)

共催 西野山団地自治会連合会・社会福祉法人京都福祉サービス協会

協力 京都市都市計画局住宅室住宅管理課・山科区役所地域力推進室

西野山団地 自治連合会



地域共生社会推進センター

協力団体

山科区役所 地域力推進室（まちづくりアドバイザー）
山科区役所 介護ケア推進課
京都市住宅管理課 居住支援協議会

山科区社会福祉協議会
勧修学区社会福祉協議会
京都市勧修地域包括支援センター
山科区地域介護予防推進センター

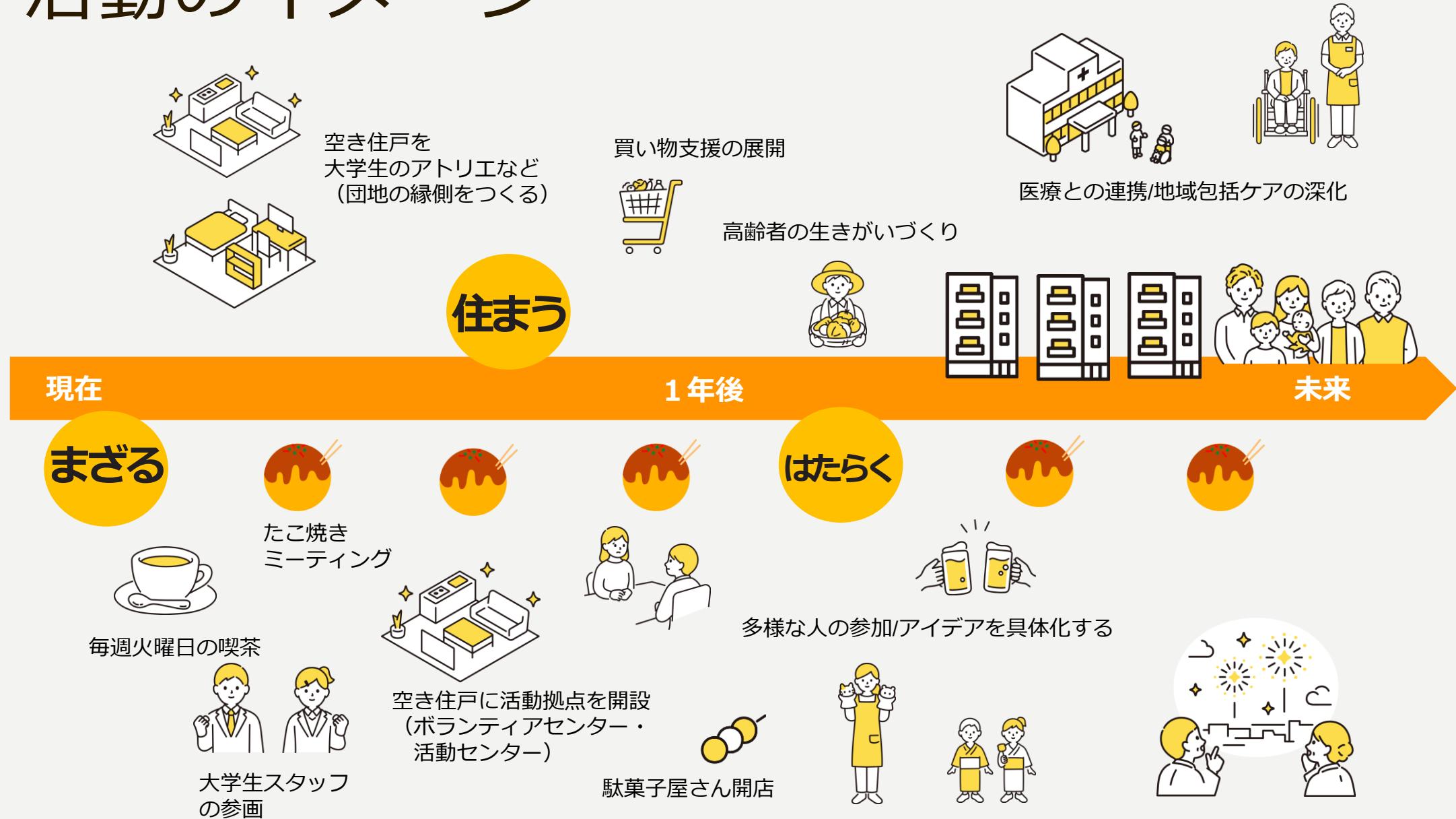
京都橘大学

一般社団法人アソボロジー
公成建設(株)
(株)ダイエー

移動販売・居場所づくり



活動のイメージ



公益的な取組のイメージ



公助・共助・自助の
もりつけ？

基幹事業（サービス）と地続きなもの

基幹事業
サービス

公益的な
取り組み

「契約」

誰でも良い／お客様

サービス

交換（経済的）

資本の蓄積

社会福祉法人の
活動が持つ独自
の価値は何か？

「縁」

あなたとわたし／参加者

コミュニティ

贈与（非経済的）

つながりの蓄積

大手チェーンのカフェ

まちの喫茶店

コミュニティカフェなど

子ども食堂・高齢者サロン

参考文献：『うしろめたさの人類学』松村圭一郎（ミシマ社）
『あそびの生まれる時「お客様」時代の地域活動コーディネーション』西川正（ころから）